



虹の架け橋ヘルパー 藤井結実

勝間田綾子様の紹介

勝間田綾子様は大正十五年二月五日に千葉県館山市に四人兄弟の末っ子としてお生まれになりました。昭和十六年安房女子高等学校を卒業され、株式会社白木屋人事部に入社しました。ある時、焼き芋を買いに行ったら路傍伝道をやっており、それがきっかけで教会へ行くようになり、洗礼を受けられました。昭和十七年、十八歳の時に、神奈川県東の勝間田大工所の社長の息子だった勝間田英生様と結婚されました。

平成二十六年十一月特養に入所されました。入所されてからは欠かさず朝の礼拝や日曜礼拝に参加され、大きな声で賛美をし、熱心に牧師先生の話を聞いておられました。また、聖書クラブや行事などにも参加されています。現在は感染症対策の為に、日曜礼拝や聖書クラブ等は行っておりませんが、一日でも早く再開でき、これからも穏やかに信仰生活が送れ、笑顔で楽しく過ごせるよう職員一同、お祈りしております。

(NO395)
特別養護老人ホーム
筑波キングス・ガーデン
0297(24)5139

夕暮れ時に光あり


施設長 小川内秀樹

特養入居者の方々が、キングス・ガーデンに入居され、数年間の生活をしていく中、目標は、最後までこの場所で続ける事だと思います。毎日の生活により、馴染みの場所となり、馴染みの顔ぶれとなり、その人らしさを維持できることは、尊厳を保たれることに繋がる事です。

いつもと違う様子がでてくる時期になると、ご家族様にきて頂き、終末期であることをお話しさせて頂いて、改めて、看取り介護が始まる事を確認して頂いています。

しかしながら、一度は終末期であると判断していても、その後のケアにより、体調を戻され、年単位でお元気に過ごされていくお年寄りもおられます。最後の誕生日だと思っていたけれども、それから一年後に、笑顔で誕生会を迎えられた方もおられます。

先日、一人のお年寄りのご家族様へ話をさせて頂きました。自律心の高いS様は、自分らしく、その時を過ごしておられます。「見よ。私は、あなたと共にいる。」と聖書の中の言葉があります。同じように、入居者の方へ、さりげなく寄り添い、安心を得て頂くように心がけています。どこか寂しくなる気分の夕暮れに、沈む夕日は、明日に繋ぐ希望の灯火だと思ふのです。



ご家族様から
ご利用者へ愛の花束

母の日

五月十七日、母の日のお祝いで、ご利用者に午後のおやつで特別なデザートと紅茶を提供しました。皆様美味しく召し上がっていました。小さなカーネーションの飾りと一緒に記念撮影。職員の「お母さん、ありがとう。」の一声に、ご利用者の皆様も自然と表情がほころびます。

コロナ禍で、なかなか行事を行うのが難しいですが、普段とは違うデザートを通して季節感を味わって頂けたらと思います。

私は主を待ち望みます。
私のたましいは、待ち望みます。
私は主のみとこばを待ちます。
詩篇130編5節



ホームページ



ケーキセットと
小さなカーネーション



美味しいね～
毎日食べたいなあ



ケーキと紅茶、好評でした



小さな花束かわいいわね



来年もお祝いしましょう



甘くて最高！

六月の誕生会

飯星弘子様 八十八歳

今、与えられている時間に感謝

六月に入り、アジサイの花が美しく感じる季節。特養のご利用者さんと職員の予防接種二回が無事終わり、少しホッとしています。七月からは外の窓際でなく、対面で面会できる事を祈っています。これからは徐々に、ご利用者さんのお楽しみも増えていくと思います。振り返ると、私も自宅から施設の往復の日々、三十分の通勤が自然から頂く恵みでした。楽しみは、今までのビデオやDVDを見る事。特に十年前に聞いた湊晶子先生の「座標軸のある人生」を見てから、横を見る。」をもう一度聞き、感動を覚えました。色々な困難にあった時、折り返し立ち向かう先生の言葉は色あせることはなく、いつも勇気と希望を与えてくれます。「しか」の世界ではなく、「も」の世界、十五分しかないのではなく、十五分もあると思う、その感性を忘れないように学生に言い続けたという。先生は講演の最後にも「ビジョン、パッション、ミッションの三つの言葉で締め括ります。一人一人に与えられたビジョンを持って、ミッションを果たす為にパッション情熱を持って、ぶれないで生きる尊厳を証してくれました。今、与えられている時間を大切に、これからも希望を持って前進です。

【六月】

十日 日
十一日 月
十二日 火
十三日 水
十四日 木
十五日 金
十六日 土
十七日 日
十八日 月
十九日 火
二十日 水
二十一日 木
二十二日 金
二十三日 土
二十四日 日
二十五日 月
二十六日 火
二十七日 水
二十八日 木
二十九日 金
三十日 土

※感染症対策のため六月の行事、ボランティアを中止しております。

※感染症対策のため、行事は控えております。

ジャズシン 理美容サービス
七ツ・花火
大生屋販売

誕生会

ヘルパー主任 野田望

コロナ禍にあつて、ご利用者のご家族の皆様には、面会の制限により不自由な思いをさせてしまい、申し訳なく思います。

先日の利用者誕生会では、ご家族様も密着しに参加して下さい、ご家族の顔を見た利用者の表情も自然と柔らかくなる場面があり、温かな雰囲気の中で誕生会を行いました。

「今」できる事を試行錯誤する毎日ですが、ご利用者にとつての楽しみが、少しでも増えるよう願っています。

相談員日誌

「克己」 宮本真次

久しぶりに息子からキャッチボールを誘ってきた。彼のクラブには「克己」の文字が刺繍されている。彼が野球を始めた時から伝えている言葉。「克己」は自分から打ち克つ事。心の中に起る衝動を意志の力で抑える事。

相談員の日々は晴れた穏やかな日ばかりではない。突然、予想もしない嵐に遭遇するようない日もある。

その時、心の中に起る衝動を意志の力で抑え、自分に打ち克つ事が出来た。後に自問自答する自分がいた。そんな様子を察して息子はキャッチボールに誘ってくれたのかも知れない。

その場の状況・環境はコントロール出来ない。変えられるのは「自分」だけ。

言葉ではなく、キャッチボールをする事でであらためて息子から教えられた気がした。



みんなで記念撮影

